

施策番号	1301		
施策名	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり		
概要	社会のあらゆる場で子どもたちを共に育む実践の輪が広がるよう「子どもを共に育む京都市民憲章」の普及促進に取り組むとともに、全市・行政区・地域の各レベルの子育て支援ネットワークの連携の強化と協働した取組の展開を図る。		
担当局・部室	子ども若者はぐくみ局・子ども若者未来部	共管局・部室	
上位政策	13 子育て支援		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市未来こどもはぐくみプラン（2015～2019）		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	スマートフォンアプリ（京都是ぐくみアプリ）のWebアクセス数（件）	a	a	226,722	213,565	218,000	98.0%	b	0.50
2	地域子育て支援ステーション事業基幹ステーション実施学区数（学区）	a	b	136	135	142	95.1%	d	1.00
3	地域子育て支援拠点事業の利用人数（人）	e	e	570,796	481,284	649,111	74.1%	e	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		b	c					d	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	子どもの見守り活動など、身近な地域で子どもとの交流や子育て支援の取組が進んでいる。	b	b	87 13.4%	286 44.1%	190 29.3%	70 10.8%	16 2.5%	649	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		b	b							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	B	令和元	C	令和2	C	施策の目的がそこそこ達成されている
重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	対象者が子育て世帯という限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。				
	<input type="checkbox"/> 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。

☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

- ・地域子育て支援ステーション事業における基幹ステーション実施学区数については、基幹ステーションの全学区設置に向けて一定設置が完了しているものの、未設置学区については、地域子育て支援ステーションが学区内にない又は基幹ステーションを担う体制が整っていない等の理由により、実施学区数が伸び悩んでいると考えられる。
- ・地域子育て支援拠点事業の利用人数については、共働き家庭の増加に伴い、従来は自由来館として利用していた児童が、保育所等の利用要件や学童クラブの登録要件を満たすようになった等の理由により、令和元年度の自由来館児童の利用者数が減少していることが低評価の原因と考えられる。

市民生活実感調査総合評価

☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。

☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・令和2年度から令和6年度までを計画期間として新たに策定した「京都市はぐくみプラン(京都市子ども・若者総合計画)」において、施策の3つの柱として、「ライフステージに応じた子ども・若者の成長」、「特に支援を要する子ども・若者やその家庭への支援」、「子ども・若者とその家庭をみんなで支え・はぐくむ社会」を掲げ、妊娠前から子ども・若者まで、一層の「切れ目のない支援」を行う。
- ・京都市はぐくみネットワークの活動を通じて各分野で実践行動を一層広げ、市民・地域ぐるみで子育てを支え合い、子どもたちを健やかで心豊かに育むまちづくりを進める。
- ・また、「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念を市民生活の中に浸透させ、これまで以上に子育て支援に関する機運を高めるため、スマートフォンアプリ「京都市はぐくみアプリ」等による情報発信や、地域子育て支援ステーション事業、地域子育て支援拠点事業の実施などにより、子育て家庭を地域で支える取組を進めていく。
- ・引き続き、未設置学区内のステーション施設に対し、基幹ステーションの実施を依頼するとともに、未設置学区内にステーション施設がない場合は、隣接する学区の基幹ステーションに、未設置学区を含む、複数学区での実施を依頼するなど、実施学区数の増加に向け取組を進める。
- ・近年、子育ての孤立化、子育てに対する不安や負担感の増大、児童虐待等が社会問題化している中、情報発信を強化し、子育て家庭の交流促進や育児相談等、課題の早期発見や予防のために各機関との連携を進めていく。

施策名	1301	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり				
-----	------	---------------------------------	--	--	--	--

指標名	スマートフォンアプリ（京都是ぐくみアプリ）のWebアクセス数（件）					
-----	-----------------------------------	--	--	--	--	--

担当課	育成推進課	連絡先	7 4 6－7 6 1 0			
-----	-------	-----	---------------	--	--	--

1 指標の説明

スマートフォンアプリ（京都是ぐくみアプリ）のWebアクセス数

2 指標の意味

子育て親子に対して情報発信できているかを示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：当該年度末のWebアクセス数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	226,722	213,565	13,157件減	218,000	京プラン実施計画 第2ステージに掲げる令和2年度までの目標数値（218,000件）を目標値に設定する。	98.0%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	218,000	令和2年度	98.0%	京プラン実施計画 第2ステージ	

5 評価基準

最新数値が目標値に対し、
a：達成度100%以上、
b：達成度90～100%未満、
c：達成度80～90%未満、
d：達成度70～80%未満、
e：達成度70%未満

6 基準説明

京プラン実施計画 第2ステージに掲げる令和2年度までの目標数値（218,000件）を目標値に設定し、目標値に対する達成度を評価基準とし、100%以上をa評価、100%未満をb評価、90%未満をc評価、80%未満をd評価、70%未満をe評価とする。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	a	b

指標名	地域子育て支援ステーション事業基幹ステーション実施学区数（学区）					
-----	----------------------------------	--	--	--	--	--

担当課	育成推進課	連絡先	7 4 6－7 6 1 0			
-----	-------	-----	---------------	--	--	--

1 指標の説明

地域子育て支援ステーションは、京都市未来こどもはぐくみプランに掲げた子ども支援ネットワークの充実において、身近な地域レベルの子育て支援を担うこととしている。本事業の基幹ステーションは、各小学校通学区域の子育て支援ネットワークの構築を担うこととしており、今後、学区数が増加していくことが望ましいものである。

2 指標の意味

身近な地域での子育て支援ネットワークが構築され、子育て支援が充実されていることを示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：当該年度当初の実施学区数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	136	135	1学区減	142	令和2年度目標値達成のため、当該年度達成すべき数値（毎年度約4箇所）	95.1%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	146	令和2年度	92.5%	京プラン実施計画 第2ステージ	令和元年度は1学区減となっているが、学区統合によるものであるため、実際は増減なしである。

5 評価基準

該当年度の実施学区数が
a：新規実施4学区以上
b：新規実施3学区
c：新規実施2～1学区
d：増減なし
e：減少

6 基準説明

京プラン実施計画 第2ステージで掲げる令和2年度までの目標数値（146学区）を達成するためには、各年度平均4箇所の新規指定が必要であるため、新規実施4学区以上をa、以下1学区刻みで評価し、前年度を下回った場合をeとする。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	b	d

施策名	1301	市民ぐるみ・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくり				
指標名	地域子育て支援拠点事業の利用人数（人）					
担当課	育成推進課		連絡先	7 4 6－7 6 1 0		
1 指標の説明						
地域子育て支援拠点事業（一般型（つどいの広場・保育所）47箇所，連携型（児童館）131箇所）の利用人数。地域の子育て中（主に乳幼児（0～3歳））の親子の交流促進や育児相談など，子育て家庭を地域で支える取組を実施						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
身近な地域で子育て親子が交流する場の利用状況を示す指標			算出方法：各施設毎の利用者数 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	570,796	481,284	89,512人減	649,111	過去3年間の最高値	74.1%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-			-		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新の数値が過去3年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			過去3年間の数値を基に，過去3年間最高値以上をa，平均値以上をcとし，最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：649,111（平成28年度） 平均値：608,799 最低値：570,796（平成30年度）		平成30	令和元
					e	e
						e